

横浜未来の文化ビジョン（仮称）検討状況について

1 策定の趣旨

横浜市では、文化芸術創造都市施策の成果と課題、横浜の文化の現状、本市をとりまく環境の変化を踏まえ、「10年後の横浜の文化の将来像」を描くこととしました。

2 検討状況

骨子案をお示しして、インターネットによる市民モニター調査等により広く市民の皆様にご意見をお伺いしたほか、関係団体等の皆様に直接ご意見を伺っています。

ア 市民モニター調査

18歳以上の市民を対象に、WEB上のアンケート調査を行いました。

調査期間：令和7年6月30日～7月16日

回答数：1,800件（各区100件）

イ 関係団体等からの意見聴取

対象	相手方	手法
子ども	文化体験事業の参加者（高校生）2回（7/24、25）／放課後キッズクラブ（小学生）3回（8/4、19、21）	アンケート／シールアンケート
子育て世帯	地域子育て支援拠点利用者（保護者）1回（9/6）	対面で実施
障害者団体及び 障害者支援主体	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール他4団体（6/27、7/10、11、19、8/15）	対面で実施など
文化活動団体 文化施設運営 団体	地域アート活動団体1回9団体参加（8/1）／本市が共催・後援する活動を行う団体、文化施設等2回26団体参加（8/23午前、午後）	対面で実施

3 今後の予定

10月 有識者懇談会

12月 素案策定

令和8年

1月 パブリックコメント実施

3月 原案策定

基本的な方向性を中心とした4つのビジョン

1 すべての市民が希望に応じて文化的な活動ができる

■想定する施策の例

- 家庭環境等による体験格差を是正するため、子どもたちに対する文化体験の機会を充実



「子どもの文化体験推進事業」における
福祉被扶助



年齢、障害の有無を問わず、誰もが気軽に公演や展示、創作を楽しむ環境づくり

障害のある高齢者と障害のない高齢者が障害のサークルで演奏するコンサート
「ミュージック・イン・ザ・ダーク」

3 文化活動において、DXや脱炭素社会の推進をクリエイティブに目指し、持続可能性を高めている

■想定する施策の例

- 文化施設や文化事業におけるグリーン社会実現に向けたガイドラインを策定



文化施設におけるLEED化やネーミングライツ導入

ビジョン 1 誰もが自分の夢に向かって進めるまち

横浜の持つ強みを生かした「『横浜文化』の創造」を基本的な方向性として、4つのビジョンの実現につなげます。

独自コンテンツ

横浜でなければ出見えない独自のコンテンツ

開放性・多様性

内外とのネットワーク構築、官民協働

基本的な方向性 横浜の強みを生かした 「横浜文化」 の創造

豊富な地域資源

文化活動の場所、都市景観、地域の催し

ビジョン 2 ウェルビーイング (幸福)を実感できるまち

意欲ある担い手
市手芸作家、
文化活動の担い手



創作活動を通じた身近な地域の魅力の発信と交流の場

ビジョン 3 サステナブル・シフトの文化が根付くまち

ビジョン (Vision) : 目指す将来像

ウェルビーイング (well-being) : 幸福が実感できている状態

サステナブル・シフト (Sustainable Shift) : 持続可能性を高める社会への変化

ビジョン 4 いたるところに文化が息づくまち



まちの新たなにぎわいの創出や
人々の豊かなライフスタイルの実現に向けた拠点

2 身近な地域に、心身の健康増進の場があり、文化による地域コミュニティが市全域で形成されている。

■想定する施策の例

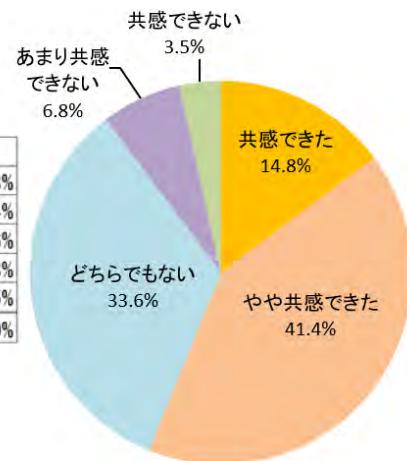
- 身近な地域での文化的なつながりを生み出す仕組みの創設

4 市民モニター調査の意見 (骨子案の各項目への共感度)

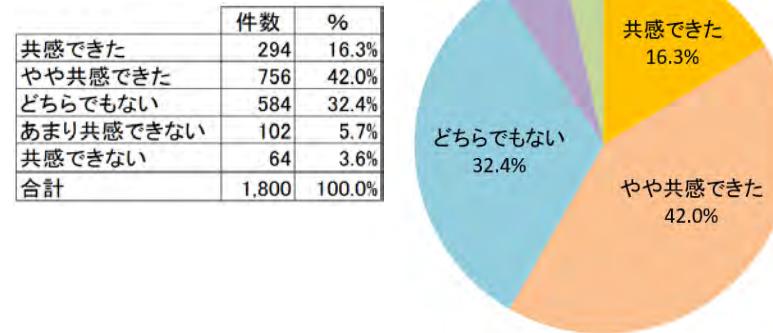
【全体的な回答状況】

- 肯定的な回答（「共感できた」「やや共感できた」の合計）は5割から6割弱
- 否定的な回答（「共感できない」「あまり共感できない」）と回答された方は、1割程度

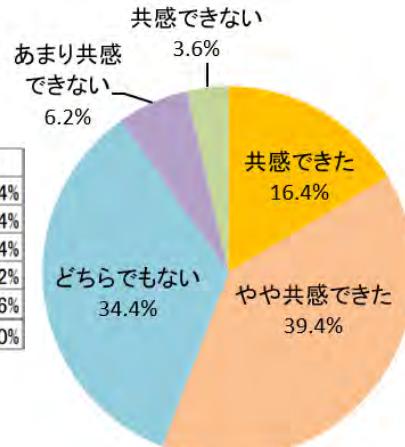
【基本的な方向性】横浜文化の創造



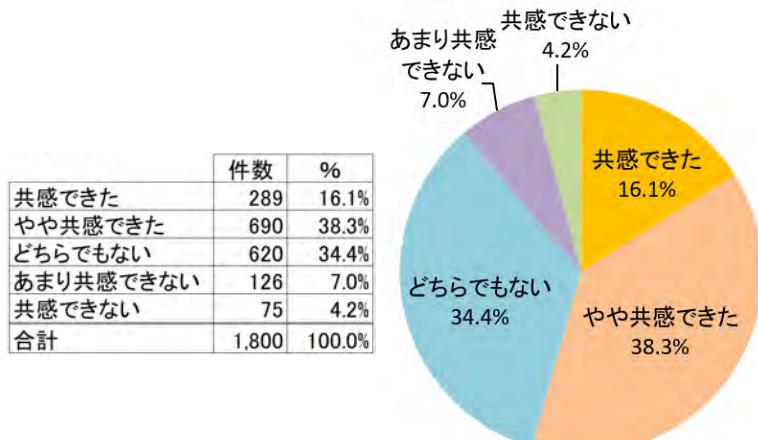
【ビジョン1】誰もが自分の夢に向かって進めるまち



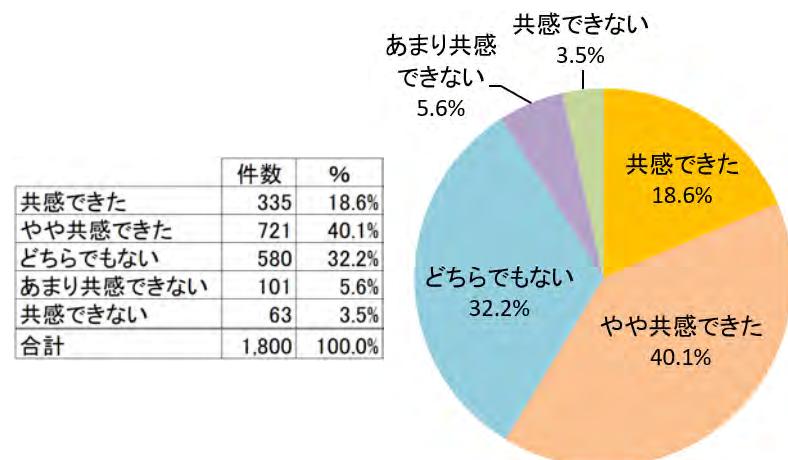
【ビジョン2】ウェルビーイング（幸福）を実感できるまち



【ビジョン3】サステナブル・シフトの文化が根付くまち



【ビジョン4】いたるところに文化が息づくまち



5 これまで寄せられたご意見と素案に向けた検討要素

(1) 基本的な方向性「『横浜文化』の創造」

ア 市民モニター調査項目

問：横浜の文化について、さらに充実すべきと考えるもの

※上位回答3項目を記載

- ・横浜らしい都市景観が豊かであること 44.8%
- ・横浜でなければ出会えない独自のコンテンツがあること 42.5%
- ・文化活動の場が充実していること 28.6%

イ これまでの主なご意見

- ・文化活動をコーディネートする人材が充実すると良い
- ・市全域でそれぞれの地域の個性的な発展を支援してほしい
- ・民間・中間支援組織・教育・国際文化機関などとの連携ネットワークが重要
- ・文化活動の場の確保が課題

(2) ビジョン1 「誰もが自分の夢に向かって進めるまち」

ア 市民モニター調査項目

問：子どもの成長において文化や芸術の取組は効果がある

- ・肯定的 73.6% (そう思う 37.2% +ややそう思う 36.4%)
- ・否定的 6.6% (あまりそう思わない3.8%+そう思わない2.8%)

イ これまでの主なご意見

- ・文化芸術の専門家が子どもたちと接する機会を増やすべき
- ・子どもたちに多様な選択肢が用意されていると良い
- ・子どもたちが放課後に集える場所ができると良い
- ・障害者と健常者が共に参加できる催しの充実
- ・小中高校生を対象とした文化芸術鑑賞会の無料招待をもっと増やしてほしい

◇素案に向けた検討要素（イメージ）

- ・横浜ならではの独自コンテンツの創出
- ・地域ごとの文化活動に対する支援の充実
- ・市内外の様々な団体・施設とのネットワーク構築
- ・文化活動の基盤となる活動場所の確保

◇素案に向けた検討要素（イメージ）

- ・子どもたちが気軽に参加できる文化体験機会の充実
- ・子どもたちが放課後に気軽に集まれる場の確保
- ・障害の有無に関わらず共に参加できる催しの充実

(3) ビジョン2 「ウェルビーイング（幸福）を実感できるまち」

ア 市民モニター調査項目

問：幸福感の向上において文化や芸術の取組は効果がある

- ・肯定的 71.0% (そう思う 31.5% +ややそう思う 39.5%)
- ・否定的 7.0% (あまりそう思わない4.4%+そう思わない2.6%)

問：地域コミュニティの活性化において、文化や芸術の取組は効果がある

- ・肯定的 61.8% (そう思う22.9%+ややそう思う38.9%)
- ・否定的 8.9% (あまりそう思わない5.8%+そう思わない3.1%)

イ これまでの主なご意見

- ・多分野（スポーツ、福祉、教育など）と連携が重要
- ・民間のコミュニティスペースと連携をとることが重要
- ・空き家、商店街、神社仏閣等様々な場の活用を検討すべき
- ・地域での文化活動がコミュニティの形成につながる

(4) ビジョン3 「サステナブル・シフトの文化が根付くまち」

ア 市民モニター調査項目

問：文化や芸術の分野で気候変動対策に取り組むべき

- ・肯定的 46.7% (そう思う16.8%+ややそう思う29.9%)
- ・否定的 16.6% (あまりそう思わない10.7%+そう思わない5.9%)

イ これまでの主なご意見

- ・リユース、リサイクルなどのSDGsはその言葉が出る前から取り組んでいる。継続して取り組むことで定着する。
- ・持続可能性を高めるため、ふるさと納税を活用した近隣都県からの財源確保の検討等が考えられる。
- ・お年寄りの外出の傾向が変わってきている。暑さ対策など催し物の開催時間も工夫したい。

◇素案に向けた検討要素（イメージ）

- ・健康づくりやまちづくりなど多様な分野と連携した取組の充実
- ・文化を通じたコミュニティ形成につながる取組の充実
- ・身近な場所に気軽に立ち寄れる文化活動の場の確保

◇素案に向けた検討要素（イメージ）

- ・ふるさと納税等を活用した新たな財源確保の取組の充実
- ・文化事業・文化施設において、循環型社会の実現に向けた取組の充実

(5) ビジョン4 「いたるところに文化が息づくまち」

ア 市民モニター調査項目

問：観光振興において、文化や芸術の取組は効果がある

- ・肯定的 69.8% (そう思う27.4%+ややそう思う42.4%)
- ・否定的 7.1% (あまりそう思わない4.2%+そう思わない2.9%)

問：経済の活性化において、文化や芸術の取組は効果がある

- ・肯定的 64.1% (そう思う23.4%+ややそう思う40.7%)
- ・否定的 8.7% (あまりそう思わない5.6%+そう思わない3.1%)

イ これまでの主なご意見

- ・企業等と連携してのパブリック・アート展開や公共空間でのパフォーマンス機会の拡充が必要
- ・文化は本来いたるところにあるもので、街なかの様々な場所に文化的な環境をつくることが重要
- ・同時に開催されているイベントの横の連携があると良い

◇素案に向けた検討要素（イメージ）

- ・観光・にぎわいづくりにつながる活動の展開
- ・街なかでの文化事業や文化的なまちづくりの推進
- ・同時に開催されているイベント同士の連携

(6) その他の主なご意見

【一般】

- ・地域の文化団体が継続的に活動できるように支えてほしい
- ・施設へのアクセスの利便性を高めてほしい
- ・区民文化センターの相談機能を充実させてほしい
- ・施設間の人材交流の機会が増えると良い
- ・創造都市のこれまでの成果を踏まえた今後の展望を示してほしい
- ・郊外部の商店街などでのアートを活かした取り組みを進めるにあたって、市の後押しがあるとありがたい

【子ども】

- ・ネットが普及している今だからこそ、自分よりももっと下の世代の子たちに「生」の文化体験の素晴らしさ・楽しさを知ってもらえる取り組みを進めてほしい（高校生）
- ・体験格差を減らす1つの目的としても、無料や割引などで体験が出来る機会が増えればいいと思う（高校生）

（放課後キッズクラブでの児童約100名へのシールアンケート結果
※複数回答可）

放課後やお休みの日は、

- ・絵を描いたり、工作をしたい 57人
- ・うたや楽器をしたい 37人
- ・ダンスや踊りをしたい 39人

【参考】子どもへのシールアンケートシート

